



# こがね(金)・しろがね(銀)・あかがね(銅) くろがね(鉄)・あおがね(錫)

私たちが使っている道具は、どのような金属がもちいられ、今に至っているのでしょうか。本展示では、旧石器時代から近現代までの出土品を通して、金属との出会いから金属加工の技術など金属をめぐる本県の歴史を紹介します。

## 第1章 金属との出会い

私たちは、弥生時代に銅と錫の合金である青銅器や鉄器に出会い、金属を祭祀や権威を示すモノ、武器・馬具などの利器として活用するようになりました。富山県では、弥生時代後期に射水市囲山遺跡の鉄短剣や上市町中小泉遺跡の小型仿製鏡といった金属器が出土しています。

## 第2章 色々な金属製品

展示の構成

**1**  
生活用具

鉄瓶、匙、鉄...

富山市吉倉B遺跡鉄  
高岡市諏訪遺跡和同開珎

**3**  
武具・馬具

鏃、刀、  
挂甲...

高岡市・小矢部市石名田木舟遺跡鰐口、刀鰐

**5**  
信仰用具

鏡、仏頭、  
鰐口...

高岡市下佐野遺跡簪  
南砺市梅原胡摩堂遺跡鋤先

**2**  
装身具

金環、銀環、  
かんざし...

**4**  
農工具

鋤、鍬、金鍬、  
釘...

**6**  
銭貨

和同開珎、  
六道銭...

## 第3章 加工の技術

金属を取り出し、加工し、思い通りのカタチにするには、高度な技術が必要です。金属を叩いて成形する鍛造や、金属を溶かして鋳型に流し込む鋳造などの技術があります。

**記念講演**

**「古墳時代の軍事と外交」**

講師：田中 晋作 氏  
(山口大学客員教授)

日時：令和4年10月23日(日)13:30~

場所：当センター会議室

**「製鉄遺跡が語るもの」**

講師：関 清 氏  
(元富山県埋蔵文化財センター所長)

日時：令和4年12月11日(日)13:30~

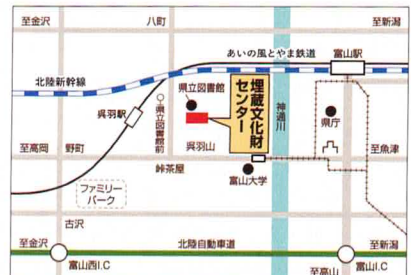
場所：当センター会議室

※演題は変更になることがあります。 ※マスクの着用、アルコールによる消毒等、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。  
※新型コロナウイルス感染拡大状況によって入場制限や予定を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

考古学の博物館  
**富山県埋蔵文化財センター**  
〒930-0115  
富山市茶屋町206-3  
TEL 076-434-2814  
FAX 076-434-2859




ホームページ
twitter



- 駐車場あり(無料)
- JR富山駅から  
富山地鉄バス  
高岡・小杉方面行き「呉羽山公園」下車……徒歩10分  
北代循環「県立図書館前」下車……徒歩1分
- 市内電車  
富山大学方面「富山大学前」下車……徒歩25分  
タクシー……15分
- あいの風富山鉄道呉羽駅から  
徒歩……20分  
タクシー……5分